

リメディアル英語教育におけるシラバス作成に関する一試案

P R E S E N T A T I O N



Developing Syllabus
Design for Developmental
Education

鈴木政浩 (西武文理大学)

よくある授業のスタイル

講義や説明中心の授業

- 話を聞く
- ノートをとる
- 覚える

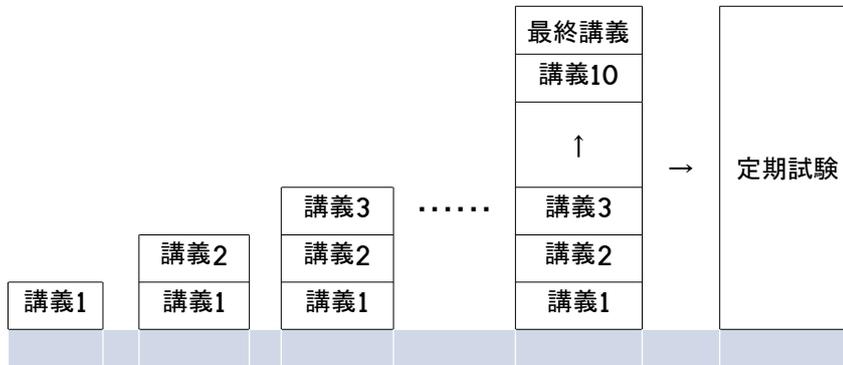
活動中心の授業

- ゲームやアクティビティーに取り組む
- 楽しく過ごす

テストを受ける

何が残ったのだろうか??
何が身についたのだろうか??

連続講義型シラバス (Successive Lecturing Syllabus)



「講義を聞き、ノートをとる」という取組が続く授業

3

提案： 教材と学習技能技能が一緒に身につく授業

□ 学習技能とは何か

- 何を、どこで調べればいいのか
- どんなふうに調べればいいのか
- どんなふうにすれば覚えられるのか
- どうすれば能率的に活動を進めることができるのか

など、暗記する力とは関係のない、
勉強を自分で進める上の知恵・勉強の仕方(個人の取組・仲間との協力)

- 一度身につけば、使っている限り忘れない能力
- 他の授業でも応用できる能力

4

教材・学習技能混合型シラバス (Blended Accumulation Syllabus)

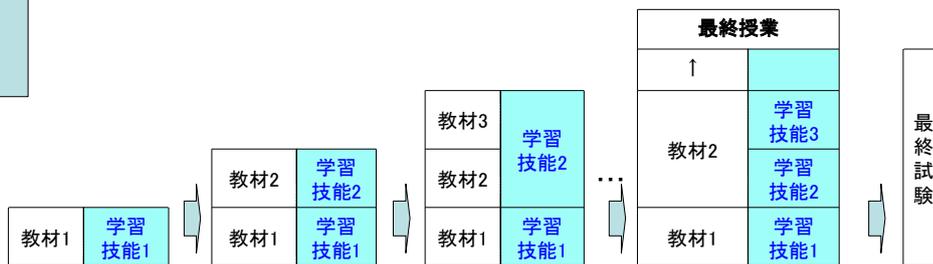
教材の学習と一緒に、勉強の仕方を学ぶ



新しい教材と一緒に、別の勉強の仕方を学ぶ



次の教材を学ぶ時、それまでに身につけた勉強の仕方を使ってみる



5

大学1年生 英語1の授業

- ねらい:**
1. 音声重視の授業により、英語に触れる量を増やす
 2. 生の英語（演説・洋画）を使って、学習意欲を高める
 3. 英検等の問題（リスニングテスト）にも積極的に挑戦する

□ 取り上げる教材

- ヒラリー・クリントンの演説(パラレル・リーディング)
- 洋画のセリフ(パラレル・リーディング)
- 英検リスニング問題(シャドーイング)

必要とされる学習技能

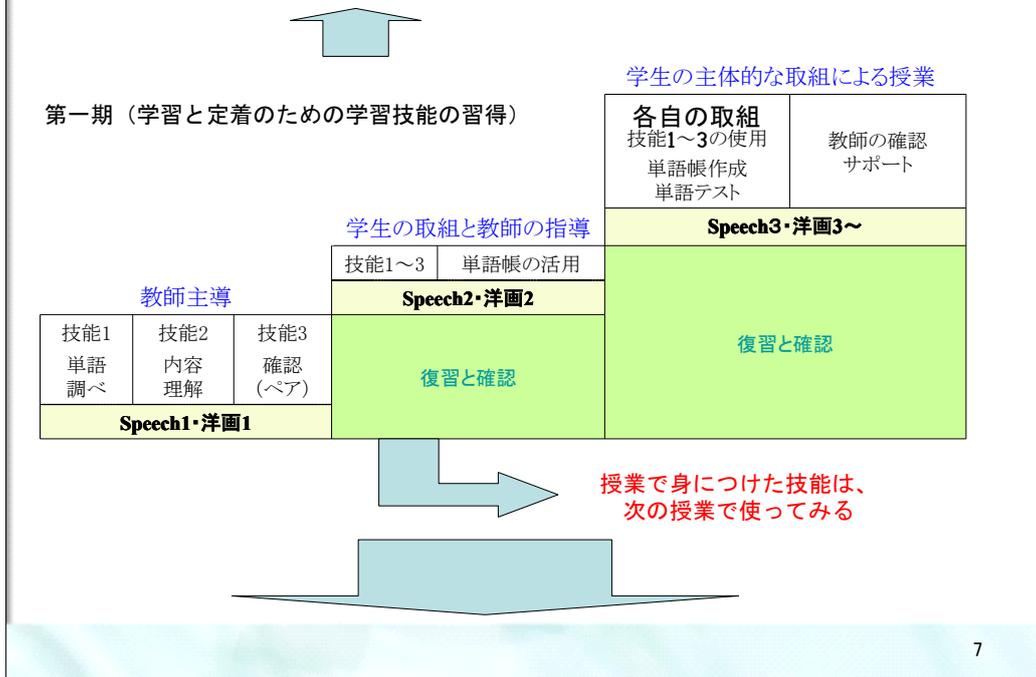
- Web辞書や教材用ホームページの活用法
- 英文と和訳を照らし合わせ、概要を把握する
- エクセルを使った単語帳作成とその活用法
- 速音読の練習方法(単語音読・句文音読・速音読)
- 仲間と課題を分担し共有する方法

グループと個人で取り組む内容（学習技能）

	グループ	順番	個人
単語調べ	新出単語が多い場合、グループで手分けする	→	Web辞書を引き、意味を調べる。エクセルで単語帳を作る
内容理解	仲間がわからなかったら教えてあげる、もしくは教師に質問する	←	英文と和訳を照らし合わせて、英文の概要を理解する
確認	ペアで取組状況を確認し、できていたらプリントにサインをしてあげる	←	ペアで取り組む際ししっかり発表できるように個人練習を進める

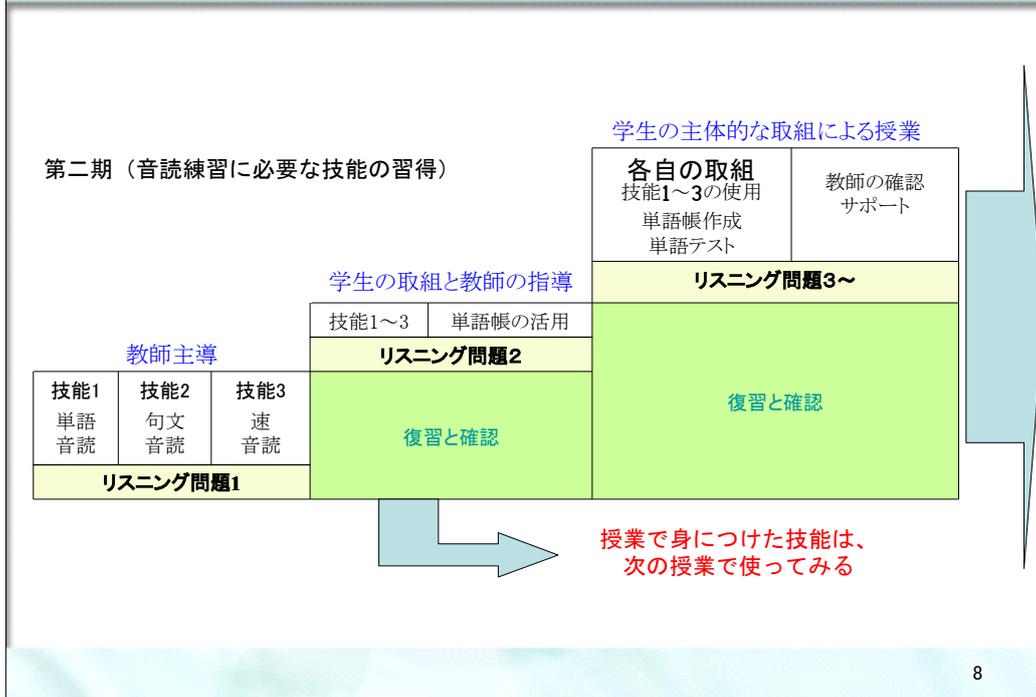
6

教材と学習技能を組み合わせた授業の具体例（半期の授業・第一期）



7

教材と学習技能を組み合わせた授業の具体例（半期の授業・第二期）



8

教材と学習技能を組み合わせた授業の具体例（半期の授業・第三期）

最終的に、授業で学習していない新しい教材も、自分たちの力で取り組めるようになる

第三期（自律学習）

最初の30分	次の30分	最後の30分
		個別確認・サポート(教師)
Speech・洋画	リスニング問題	ペア(仲間同士の取組)

- 授業で教師が指導していない教材を、自分たちで選んで取り組む
- 第一期・第二期で身につけた学習技能がしっかり使えるかを確認し、わからない点はその都度教師に相談する
- 取り組む分量はグループで話し合ったり、個人的に決めてよい（単語テストは、1回につき5問ずつでもよいし、20問でもよい）
- 練習をして課題を達成したら仲間にサインをもらう。さらに、最終的な仕上げとして教師のサインをもらう

9

成績評価をどうするか……

□ 授業内課題のテスト

- 第一期（学習と定着のための学習技能の習得）で取り組んだ内容のテスト（教わった内容がどの程度身についているか）

□ 学習技能のテスト

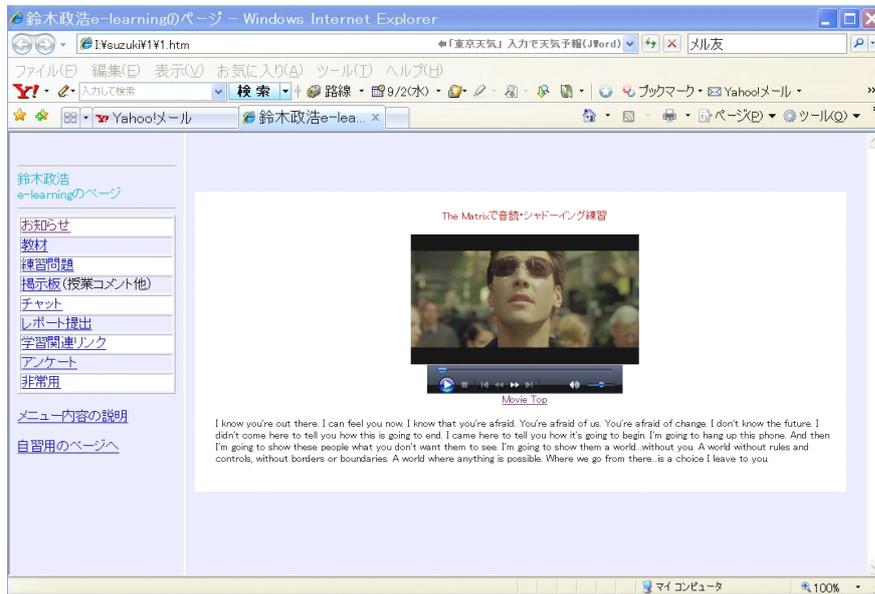
- 新しい教材を使い、決められた時間内に身につけた技能を使って課題を終えることができるか（教わった学習技能を実際に使えるか）

□ 自主課題の到達度

- 指導を受けずに取り組む課題をどの程度こなしたか（教わった学習技能を使って、新しい課題に取り組めるか）

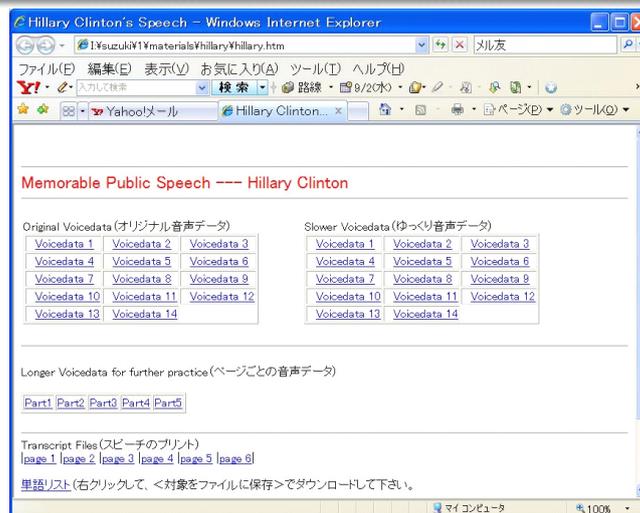
10

教材はすべて学内の自作ホームページから配信



11

ヒラリー・クリントンのスピーチ教材のページ



- 英文をダウンロードし、音声を聞くことができる
- 授業時間以外に自主的に学習できる
- 欠席しても課題に取り組むことができる、教材を忘れても大丈夫

12

<http://www.suzukimasahiro.org/>

「めんどうみのよさ」とは、学生の自律（自立）をうながす指導でこそ求められる！